

東日本の語りつぐ記憶

かたりつぎ

～朗読と音楽の集い～

あの日から、8年の歳月が経とうとしています。
土埃の舞っていた土地にも新しい町並みが現れはじめています。
しかし、現地では今なお続く支援活動があります。
東北の復興への歩みは、まだ続いています。

「富岡町」© Daisuke Shimizu



名雪祥代Quartet



竹下 景子

2019年3月9日〔土〕

開場 13:30 開演 14:30 (終演予定 16:30)

Ustream中継
14:25～

<http://ustre.am/UoAM>

会場 宮城学院女子大学 大学講堂

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 TEL.022-279-1311

入場無料・要入場券 全席自由

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※応募による申し込みが必要となります。詳しくは裏面の応募方法をご覧ください。

出演 (順不同)

- 〔朗読〕 竹下 景子 (俳優) 〔講演〕 平本 福子 (宮城学院女子大学 教授)
「宮城学院らしい災害ボランティアをめざして」
 - 〔報告〕 柴山 明寛 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)
「みちのく震録伝の取り組み」
 - 〔演奏〕 名雪祥代 Quartet
谷川 賢作(pf)/名雪 祥代(sax)/小美濃 悠太(bass)/橋本 学(drums)
 - 〔演奏〕 宮城学院中学校・高等学校 (ハンドベル班・音楽班・オーケストラ班)
- タイムラプス・ハイパーラプス映像とのコラボレーション!
(背景映像) 清水 大輔 (タイムラプス・ハイパーラプス専門クリエイター)

七人の記憶

- ・全町避難となった自治体職員として (福島県双葉町 大住宗重さん)
- ・ありがとうの黄色いハンカチ (宮城県山元町 渡辺修次さん)
- ・震災によって生まれた新しい絆 (宮城県石巻市 岩元眺子さん)
- ・子どもたちの笑顔を救うために (岩手県大槌町 佐々木夏未さん)
- ・その先に、父へ (青森県八戸市 島守央子さん)
- ・ラスト・サムライと呼ばれて (福島県富岡町 松村直登さん)
- ・目には見えない心の復興のために
—カフェデモンクの僧侶として— (宮城県栗原市 金田諦應さん)

Access & Around



🚗 お車でご来場の方へ 駐車スペースには限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

会場までのアクセス ※経路・運賃等は変更となる場合があります。詳しくはご自身でご確認ください。

- 一仙台駅から—
A: 西口バスプール3番のりば 宮城学院線(宮城学院前行)乗車→「宮城学院前」下車
B: 西口バスプール2番のりば 宮城大学線(宮城大学・仙台保健福祉専門学校前行 または 泉アウトレット行)乗車→「宮城学院前」下車【所要時間:約30分・料金380円】
- 一地下鉄旭ヶ丘駅から—
3番のりば 宮城学院線(宮城学院前行)乗車→「宮城学院前」下車【所要時間:約10分・料金250円】
- 一地下鉄八乙女駅から—
2番のりば 加茂・長命ヶ丘線(加茂四丁目南経由・長命ヶ丘二丁目行)乗車→「上谷刈山添」下車【所要時間:バス約9分+徒歩7分・料金250円】
- 一地下鉄泉中央駅から—
6番のりば 泉ヶ丘線(加茂・桜ヶ丘経由・仙台駅前行)乗車→「宮城学院前」下車【所要時間:バス約30分】
- 仙台市営バス
一仙台駅から—
A: 西口バスプール13番のりば 桜ヶ丘線(宮城学院前行)乗車→「宮城学院前」下車【所要時間:約30分・料金380円】
B: 桜ヶ丘線(桜ヶ丘七丁目行)乗車→「桜ヶ丘六丁目」下車【所要時間:バス約30分+徒歩10分・料金350円】
- 一地下鉄泉中央駅から—
1番のりば 南吉成線(聖和短大前行 または 貝ヶ森一丁目行 または 実沢営業所前行)乗車→「上谷刈山添」下車【所要時間:バス約12分+徒歩7分・料金250円】

主催: 宮城学院女子大学/東北大学災害科学国際研究所/かたりつぎ仙台実行委員会/復興支援コンサート実行委員会(神戸)
後援: 宮城県/岩手県/福島県/仙台市/石巻市/栗原市/山元町/八戸市/岩手県大槌町/福島県双葉町/(公財)仙台市民文化事業団
NHK仙台放送局/TBC東北放送/KHB東日本放送/ミヤギテレビ/仙台放送/FM仙台/河北新報社/毎日新聞仙台支局
産経新聞社東北総局/朝日新聞社仙台総局/読売新聞東北総局

お問い合わせ

かたりつぎ仙台実行委員会 事務局
TEL.090-7663-4102
(9:00~17:00)

協賛: 清月記



TOPPAN



当日、会場入り口で、
ぱーすだいのパンを販売します。



東北の被災地は復興したか？

あの日から、8年の歳月が経とうとしています。土埃が舞っていた土地には新しい町並みが現れ始め、仮設住宅にお住まいの方も少なくなりました。しかし、被災された方がその現実を意識しなくなるまでには長い時がかかり、すべてのサイクルが終わるまでは、さらに大きな時間を要します。生活の再建が実感できるのは、被災して失った「住まい」「つながり」「まち」「心と身体の健康」、そして「経済」や「とりまく環境」が整った時です。とりわけ心の復興には長い時間がかかります。復興住宅ではコミュニティの再構築に悩む方もたくさんおられます。今年、震災後に始まった活動や支援がどのように発展、継続されているのかをテーマにお伝えします。

竹下 景子

俳優、名古屋出身。東京女子大学卒業。NHK「中学生群像」出演を経て、1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」で本格デビュー。テレビ・映画・舞台への出演の他、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長を務めるなど幅広く活動。1999年より14年間にわたる阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートに参加。2012年3月からは東北の「かたりつき 朗読と音楽の夕べ」に参加し、今年8回目となる。

平本 福子

宮城学院女子大学生生活科学部食品栄養学科教授、博士(栄養学)、管理栄養士、三重県生まれ。女子栄養大学大学院栄養学研究科修了。女子栄養大学助手を経て、1993年より宮城学院女子大学。専門は調理教育・食教育。主たる研究領域は食環境との関わりを視野に入れた食教育。大学では管理栄養士、栄養教諭養成に携わりながら、子どもを中心とした食教育の実践研究を進めている。また、リエゾン・アクション・センター(MG-LAC)で学生の自主活動支援にあたっている。加えて、NPO法人食生活実践フォーラム理事として、食の専門家を支える研修や教材開発を行っている。



柴山 明寛

東北大学災害科学国際研究所准教授、博士(建築学)、静岡県出身。2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を建築工学、地震工学地域防災などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、震災復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承に繋げる研究を行っている。



[名雪祥代 Quartet]

谷川 賢作 -Piano

1960年東京生まれ。ジャズピアノを佐藤允彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」ハーモニカ奏者続木力とのユニット「バリヤーン」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。88、95、97年に日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。近年も、監督やプロデュースを多数手がけ、数多くの音楽賞を受賞している。2017年度船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザー。音楽を担当した映画「紅い罎〜富岡製糸場物語」17年12月、最新映画「獄友」18年3月より全国公開。谷川賢作オフィシャルサイト <http://tanikawakensaku.com/>

名雪 祥代 -Saxophone

宮城県遠田郡美里町出身。昭和音楽大学・大学院卒業。2015年定禅寺ストリートジャズフェスティバルの特別番組において、自身のカルテットで出演し好評を博した。2016年9月初リーダーアルバム「Comfort」を発売。発売翌日のAmazon J-JAZZ部門ランキング第1位を獲得の快挙。現在、ジャズプレイヤーとして仙台を中心に東北各地で演奏活動をする傍ら、ヤマハ音楽教室講師、仙台ジャズスクール講師として、音楽の楽しさを伝えている。クラシックサクソを宗貞啓二、武藤賢一郎、古清敏の各氏に、ジャズサクソを津上研太、安田智彦の各氏に師事。2018年4月からNHKラジオ第一「ゴジだっちゃ」水曜パーソナリティとして出演中。

小美濃 悠太 -Contrabass

1985年、東京生まれ。一橋大学院卒業。東京を中心に首都圏全域で活動。サクソ奏者 白庭潤のバンドへの参加を皮切りに、日本を代表する数々のジャズミュージシャンとの共演を重ねる。ジャズ以外にも、世界的なボサノバシンガー・小野リサの中国ツアーや、日本を代表する雅楽師・東儀秀樹と、世界的なバイオリニスト古澤巖による全国ツアーなどに参加。大竹しのぶ主演「ピアフ」、山本耕史主演「ヴォイツェク」、昆夏美 伊礼彼方 廣川三憲主演「星の王子さま」など、ミュージカル・音楽劇での演奏も多数。ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。

橋本 学 -Drums

1976年2月28日兵庫県生まれ。大学在学中にリットーミュージック社ドラムマガジン誌上ドラムコンテスト'98にて「TOSHINAGAI賞」を受賞。卒業後、インディーズバンド「GANA LOU」「STAY」を経てフリーランス活動へ。2001年横浜ジャズブルムナード・コンペティションにて 西本康朗カルテットでグランプリ受賞。橋本学trioにて作・編曲を手がけ、ソロ・パフォーマンストゥアも行う。海外公演への参加多数。2016年、長野県富士見町へ移住し、中部甲信地方発信の活動を開始。アヴァン・ポップからトラディショナル・ジャズまで、近年ではピアノ・トリオやシンガーとの共演が多い。

宮城学院中学校・高等学校 (ハンドベル班・音楽班・オーケストラ班)

- ハンドベル班/東北支部ハンドベルフェスティバルや宮城県ハンドベルコンサートに参加。また教会で献奏、学校行事等で奉仕しています。
- 音楽班/聖歌隊としてクリスマス礼拝をはじめとする宗教行事で讃美する他、文化祭では翻訳、台本作成、編曲など、全て自分達の手で作りに上げるミュージカルを行っています。また毎年中高別に出演している合唱連盟主催のアンサンブルコンテストでは、一昨年宮城県代表として全国大会に出場しています。
- オーケストラ班/伝統ある弦楽アンサンブルに加え、昨年度、管楽部門が誕生しました。指揮者に、元仙台フィルハーモニー管弦楽団クラリネット奏者の副島謙二先生をお迎えし、活動をしています。今年度は宮城県代表として「第42回全国高等学校総合文化祭2018長野大会」に出場しました。また、本校最大行事であるクリスマス礼拝をはじめ、教会献奏や県内外の音楽祭、コンクールに出場し、技術向上を目指しています。

タイムラプスとは

時間が経過する様子を早回しで見る動画を「タイムラプス動画」と言います。その映像のコマコマを写真で撮影し、バラバラ漫画のように表現することで、通常の映像では表現できない、とても美しい動画になります。

背景映像 清水 大輔

(タイムラプス・ハイパーラプス専門クリエイター)
2012年、東日本大震災で被災した福島のことを世界に発信する想いでタイムラプス制作を開始現在はフリーランスのタイムラプス、ハイパーラプス専門クリエイターとして各国で活動し、映像作品はVimeo Youtube中心に公開。2017年からは次世代ハイパーラプスの制作を開始し、写真のみで動画を表現する新しい映像技法で、今までにない映像を制作している。



証言編集

水月りの(詩人)

司会

飯田 利加

舞台監督

白津 守康

演出

志賀野 桂一

応募方法

締切 / 2019年2月15日(金) 消印有効

往復はがきにて応募ください

往復はがきにてご応募下さい。右記のように必要情報を記載の上、お申し込み下さい。記載間違いにご注意下さい。1枚で2名様までお申し込みができます。先着順に受け付けます。
※抽選ではありませんので重複しての申込みはお断りします。
●結果通知: 返信葉書にて通知します。※先着順で定員になり次第締め切ります

切手 62
— 返信 —
〒980-8799

仙台中央郵便局留
「かたりつき」係

返信(おもと)

この欄は
記入不要です。

返信(うら)

切手 62
— 返信 —
〒□□□-□□□□

あなたのご住所
あなたのお名前 様

返信(おもと)

①「かたりつき」係
希望人数 1人
又は2人

②ご住所

③お名前
※2名で応募の場合は
2名のお名前を
お書きください。

④お電話番号

返信(うら)

※古いはがきをご利用の方は料金不足にご注意下さい。料金不足の場合は受け付けられません。